

災害時におけるリハビリテーション支援チームの派遣協定の締結について

平成30年3月27日

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

043-223-2670

大規模災害発生時における被災高齢者や傷病者などの生活不活発病*や孤立化の予防に迅速かつ適切に対応するため、県と千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（C-RAT）との間で災害時の医療救護班（リハビリ支援）の派遣に関する協定を締結しました。 [※全国で愛媛県・大分県・山梨県に次ぐ4例目]

*生活不活発病とは、「動かない」（生活が不活発な）状態が続くことにより、心身の機能が低下して、「動けなくなる」こと。（厚生労働省HPから引用）

1 災害時のリハビリテーション支援の必要性

本県における県北西部直下型地震の被害想定は、死者約2,100人、負傷者約25,100人、避難者は最大約806,600人であり、このうちの約3割に当たる約250,000人の高齢者が、長期の避難生活を余儀なくされるものと見込まれます。

災害時の避難所、仮設住宅又は自宅等における避難生活の長期化に伴う孤立・生活不活発病の発症、またこれらに起因する震災関連死を防止し、自立生活の再建を促進するリハビリテーション支援活動は、発災直後の急性期の救命救急活動に続く活動として重要となっています。

2 協定内容及び効果

(1) 内容

- ・発災時に、県からの要請により医療救護班（リハビリ支援）を派遣し、リハビリトリアージ、運動指導、避難所の環境アセス等を行います。
- ・県の主催する防災訓練に参加協力し、平時から災害時の対応に備えます。

(2) 効果

- ・災害時にリハビリテーション支援を迅速に行うことができます。
- ・市町村や保健所におけるC-RATの認知度や災害時のリハビリテーション支援活動の重要性の認識が高まり、迅速な支援要請のための連絡体制の整備や被災者への生活支援ネットワーク構築の促進が期待されます。
- ・九都県市防災訓練等を通じ、平時からC-RATと市町村・保健所とが連携することにより、地域包括ケアシステムの構築にも寄与します。

3 千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（C-RAT）

C-RATは、大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）の地域組織であり、平成27年9月8日に設立されました。県内のリハビリテーション専門職等の職能団体や千葉リハビリテーションセンター、回復期リハビリテーション病院の協議会等10団体で構成され、平成28年4月に発生した熊本地震において活動の実績があります。